



## TORIAZ SP-16 ファームウェア - 変更履歴

### Ver.1.60 (2019年10月3日更新)

#### [新規]

- ✓ サンプルトラックとスルートラックにおいて、FX1 モジュールに加えて FX2 モジュールを使用できるようになりました。
- ✓ USB-B 端子に入力された MIDI メッセージを MIDI OUT/THRU 端子から出力できるようになりました。
- ✓ MIDI IN 端子に入力された MIDI メッセージを USB-B 端子から出力できるようになりました。

#### [改善]

- ✓ MIDI IN チャンネル設定において、あるトラックに設定した MIDI CH を他のトラックにも設定できるようになりました。
- ✓ MIDI による同期や演奏の設定項目を改善しました。
- ✓ ソフトウェアキーボードでアンダースコアを入力できるようになりました。

### Ver.1.50 (2018年6月7日更新)

#### [新規]

- ✓ LIVE SAMPLING 機能を追加しました。

### Ver.1.40 (2017年11月21日更新)

#### [新規]

- ✓ シーケンスのコピー・ペーストが可能になりました。
- ✓ トラックのコピー・ペーストが可能になりました。
- ✓ トラックの入れ替えが可能になりました。
- ✓ シーケンスのダイナミックレコーディングに対し UNDO 機能を追加しました。
- ✓ 各トラックのトリガーを一括消去する機能を追加しました。

#### [改善]

- ✓ 使用できるサンプル音源の長さの制限を 64 秒に拡大しました。
- ✓ 各種ノブを回したときの速度に応じた変化量が反映されるようになりました。

- ✓ Dave Smith Filter の設定がシーンごとにできるようになりました。
- ✓ BROWSE 画面での BACK ボタンの動作を変更しました。

#### [修正]

- ✓ 同じ CHOKE グループのトラックがミュートされたとき、正しく音が鳴らなかった問題を修正しました。
- ✓ SAMPLING/EDIT 画面でのプレビュー再生時に、再生バーが表示されない問題を修正しました。
- ✓ 本機で使用するフォルダーの名称を変更しました。

### Ver.1.31 (2017 年 7 月 27 日更新)

#### [改善]

- ✓ 音源をトラックにロードした際に TIME STRETCH などの設定を自動的に M.TMP に切り替えていた仕様を、ユーザーの最後の設定に従うように変更いたしました。

#### [修正]

- ✓ MIDI トラックにて、PLAY 中に記録された MIDI-Note-On を出力した直後に STOP ボタンを押すと、該当 MIDI-Note-Off を送出してなかった不具合を修正しました。
- ✓ PROJECT メニューの COPY CURRENT SCENE TO を廃止しました。以降は SCENE MANAGER の FILE から IMPORT/EXPORT をお使いください。
- ✓ SAVE AS PACKAGE 時に Slice の Grid 設定が初期化されてしまう不具合を修正いたしました。
- ✓ その他のバグ修正と動作安定性の向上。

### Ver.1.30 (2017 年 2 月 2 日更新)

#### [新規]

- ✓ トラック属性で TORAIZ AS-1 (アナログシンセサイザー) 専用の MIDI トラックを選択できるようになりました。
- ✓ SET SCALE 機能により、SCALE モードにおいて SET SCALE 画面で指定したスケールで音階演奏をすることが可能になりました。
- ✓ アナログフィルターをミックス前のトラックにアサインすることが可能になりました。
- ✓ SCENE ファイルのエクスポート・インポート機能により、SCENE ファイルをプロジェクト間およびユーザー間でやり取りすることが可能になりました。
- ✓ 新たなエフェクトとして、PHASER、DUCKER が加わりました。

#### [改善]

- ✓ BYPASS モードの使いやすさを改善しました。
- ✓ SLICE モードでのシーケンス入力や SET SLICE 画面の使いやすさを改善しました。
- ✓ 波形ズーム機能の使いやすさを改善しました。
- ✓ LFO の DESTINATION 設定で MIXER のパラメータを指定できるようになりました。
- ✓ タッチストリップの USER 設定で MIXER のパラメータを指定できるようになりました。
- ✓ SYNC SOURCE SETTING が INTERNAL や PRO DJ LINK のときも MIDI IN 機能が使えるようになりました。

#### [修正]

- ✓ MIDIトラックでシーケンサー再生中にパッドを叩いても音が鳴らないことがある問題を修正しました。

### Ver.1.20 (2016年11月17日更新)

#### [新規]

- ✓ MIDI IN/OUT 機能の拡張により、DAW や電子楽器との連携機能が強化されました。
- ✓ 各トラックに装備された LFO 機能により、様々なパラメータを動かし新たなグループを生み出すことが可能になりました。
- ✓ 新たなエフェクトとして、LO-FI、DISTORTION、COMPRESSOR が加わりました。また、SEND FX の代わりに MASTER FX も選択可能になりました。
- ✓ RENDER AUDIO 機能により、作成したトラックやミックスを本体内蔵メモリまたは USB メモリに WAV ファイルとして書き出すことが可能になりました。
- ✓ SET SLICE 機能により、サンプル音源のスライスポイントを細かく設定することが可能になりました。
- ✓ PAD / BUTTON BRIGHTNESS 調整ができるようになりました。

#### [改善]

- ✓ MASTER TEMPO / PITCH SHIFT の音質を改善しました。
- ✓ ARRANGER 画面の使いやすさを改善しました。
- ✓ PRO DJ LINK 接続時の BPM 同期性能を改善しました。

#### [修正]

- ✓ SYNC SOURCE SELECT が「PRO DJ LINK」のとき、MIDI CLOCK による外部 MIDI 機器との SYNC ができない問題を修正しました。

- ✓ FX1 で MULTI MODE FILTER を選択しているとき、プロジェクトをリロードすると FILTER TYPE がリセットされてしまう問題を修正しました。
- ✓ SAMPLING/EDIT 画面で REC したサンプルをアサインすると画面がフリーズすることがある問題を修正しました。